笠間市議会総務産業委員会記録

令和6年3月1日 午前10時00分開会

出席委員

委員長	安見貴志君
副委員長	川村和夫君
委員	長谷川愛子君
〃	河原井信之君
〃	田村泰之君
〃	石井栄君
〃	西山猛君

欠席委員

なし

出席説明員

消防長	菌部恵一君
市長公室長	金木雄治君
政策企画部長	北野高史君
総務部長	後藤弘樹君
産業経済部長	磯山浩行君
予防課長	中村浩一君
予防課長補佐	猪野利美君
予防課係長	深澤弘樹君
人事課長	石川浩道君
人事課長補佐	鈴木滋君
人事課G長	横手和昭君
企画政策課長	森望君
企画政策課長補佐	井坂亜紀子君
企画政策課G長	小室正君
企業誘致・移住推進課長	滝田憲二君
企業誘致・移住推進課長補佐	岡部隆君
企業立地推進室長	佐藤隆君
企業誘致・移住推進課G長	山口美德君

デジタル戦略課長	鈴木昭彦君
情報政策調査官	長谷川尚一君
デジタル戦略課係長	井樋さやか君
総務課長	橋本祐一君
総務課長補佐	石川幸子君
総務課G長	松葉茂博君
税務課長	山崎由美子君
税務課長補佐	山口浩之君
農政課長	菊地恵一君
農政課長補佐	島田耕一君
農政課主査	安蔵幸子君
観光課長	山内一正君
観光課長補佐	川松祐市君
観光課G長	中山考司君

出席議会事務局職員

議会事務局次長	堀内恵美子
次長補佐	鶴田貴子

議事日程

令和6年3月1日（金曜日）

午前10時00分開会

- 1 開会
- 2 案件

（1）付託案件の審査

- ・議案第1号 笠間市行政組織条例等の一部を改正する等の条例について
- ・議案第2号 笠間市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
- ・議案第3号 笠間市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ・議案第4号 笠間市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例について
- ・議案第5号 笠間市公の施設の広域利用に関する協定の実施のための特例条例の一部を改正する条例について
- ・議案第6号 笠間市空家等対策の推進及び空家等の利活用の促進に関する条例及び笠間市空家等対策協議会設置条例の一部を改正する条例について

- ・議案第7号 笠間市公告式条例の一部を改正する条例について
- ・議案第8号 笠間市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例について
- ・議案第13号 笠間市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- ・議案第14号 あたごフォレストハウスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- ・議案第16号 笠間市手数料条例の一部を改正する条例について
- ・議案第18号 地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について
- ・議案第19号 笠間市条例の読点の表記を改める条例について
- ・議案第20号 指定管理者の指定について（あたごフォレストハウス）
- ・議案第21号 指定管理者の指定について（あたご天狗の森野外ステージ及びフレンドリーパーク野外ステージ）
- ・議案第22号 公の施設の広域利用に関する協議について
- ・議案第41号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

(2) その他

午前10時00分開会

○安見委員長 改めまして、おはようございます。総務産業委員会委員の皆様並びに執行部の方々におかれましては総務産業委員会に御出席を賜りまして、ありがとうございます。

○安見委員長 ただいまの出席委員は全員であります。

定足数に達しておりますので、ただいまから総務産業委員会を開会いたします。

本日は、傍聴の申出がありましたので、これを許可したことを御報告申し上げます。

本日の議案説明のため出席を求めた者は、資料のとおりであります。また、議会事務局より堀内次長、鶴田補佐が出席しております。

本日の会議の記録は、鶴田補佐にお願いいたします。

○安見委員長 これより議事に入ります。

本日の案件は、今期定例会において総務産業委員会に付託になりました議案の審査であります。審査は、審査日程表により課別、議案別に行います。

それでは初めに、消防本部予防課、議案第16号 笠間市手数料条例の一部を改正する条

例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

予防課長中村浩一君。

○中村予防課長 消防本部予防課の中村でございます。よろしくお願いいたします。

議案第16号 笠間市手数料条例の一部を改正する条例について御説明をいたします。

本案は、直近の人件費単価及び消費者物価指数の変動に伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部が改正されたことに伴い、笠間市手数料条例の消防法の規定に基づく手数料について改正するものでございます。

内容としましては、消防法に関する危険物施設のうち、浮き屋根式特定屋外タンク貯蔵所及び浮き蓋付特定屋外タンク貯蔵所の安全対策が強化されたことで、設置許可の審査や検査時間の増加が見込まれることから、手数料を値上げするものでございます。なお、笠間市においては該当となる危険物施設はございません。

改正内容については、新旧対照表にて御説明いたします。

タブレット3ページをお開きください。

別表第2手数料を徴収する事務のうち、2款浮き屋根式特定屋外タンク貯蔵所及び浮き蓋付特定屋外タンク貯蔵所の設置の許可の申請に係る審査手数料の金額について、ホの項（1）危険物の貯蔵最大数量が1,000キロリットル以上5,000キロリットル未満の浮き屋根式特定屋外タンク貯蔵所及び浮き蓋付特定屋外タンク貯蔵所から、4ページにかけ、さらに5ページをお開きください。同項（8）危険物の貯蔵最大数量が40万キロリットル以上の浮き屋根式特定屋外タンク貯蔵所及び浮き蓋付特定屋外タンク貯蔵所までの各手数料を、危険物の貯蔵最大数量の区分に応じて現行の金額から改正するものでございます。

2ページに戻っていただきまして、附則でございますが、この条例は令和6年4月1日から施行するものでございます。

以上で説明を終わります。

○安見委員長 以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

石井委員。

○石井 栄委員 今、笠間市にはこのような施設はないとおっしゃいましたけれども、これが笠間市に設置される可能性はあるのですか。

○安見委員長 予防課長中村浩一君。

○中村予防課長 このタンクは、茨城県内は鹿島コンビナートというようなところで、かなり大きなタンクになってございます。タンカーから原油を持ってきまして、そこに貯蔵するようなタンクでございまして、笠間市管内では、そういうタンクが今後設置されるということは多分ないかと思われまして。

○安見委員長 よろしいですか。

石井委員。

○石井 栄委員 そうすると、設置される可能性がないものを、このような条例の形でつくるというのは、どのような必要性からなのでしょう。

○安見委員長 予防課長中村浩一君。

○中村予防課長 御説明にもありましたけれども、地方公共団体の手数料の標準に関する政令というのがありまして、総務省消防庁のほうで、こちらの手数料条例うたってございまして、それに準じて各市町村の条例も同じ金額で見直すというようなことで、これは必ず入れておかなければならないというような条例になってございます。

以上でございます。

○安見委員長 よろしいですか。

ほかに。

川村委員。

○川村和夫委員 すみません。聞き漏らしたのかもしれませんが、今回アップ率だと、前回の上げた年度はわかりますか。教えてください。

○安見委員長 予防課長中村浩一君。

○中村予防課長 令和3年に消費税が10%になったとき、そのときに改正がありまして、その前でいいますと、私の記憶の範囲で申し訳ございませんが、平成30年の4月1日というような記憶がございまして。

御説明を補足しますと、アップ率は、総務省消防庁のほうで積算表というのをつくってございまして、そこに人件費とか物件費とかというような計算書がありまして、そこから人件費単価、所要時間、事務内容とかを加味しまして金額が決まってくるというような内容になってございます。

以上でございます。

○安見委員長 大丈夫ですか。

川村委員。

○川村和夫委員 具体的なアップ率というのは何%でしょうか。

○安見委員長 予防課長中村浩一君。

○中村予防課長 前回から今回のアップ率は約20%ということでありまして。

○川村和夫委員 分かりました。ありがとうございます。

○安見委員長 ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

入替えのため暫時休憩いたします。

午前10時07分休憩

午前10時08分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を行います。

次に、市長公室人事課、議案第1号 笠間市行政組織条例等の一部を改正する等の条例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 人事課の石川と申します。よろしくお願いいたします。

○安見委員長 マイクをお願いします。

○石川人事課長 申し訳ございませんでした。私から、議案第1号 笠間市行政組織条例等の一部を改正する等の条例について御説明申し上げます。

令和6年度の行政組織機構の改編に伴い、関係条例に関し一部改正及び廃止をするものでございます。

本案の改正内容は、こども部の創設に伴う笠間市行政組織条例、笠間市議会委員会条例、笠間市子ども・子育て会議条例の一部改正、行政改革推進委員会の事務所管換えに伴う笠間市行政改革推進委員会設置条例の一部改正、笠間市保健センターの業務機能の健康医療政策課及びこども政策課へ移管に伴う笠間市保健センターの設置及び管理に関する条例の廃止、また、廃止に伴う笠間市公共施設の暴力団等排除に関する条例の一部改正でございます。

改正につきましては、新旧対照表により御説明申し上げます。

4ページを御覧ください。

初めに、笠間市行政組織条例の一部改正でございます。

第2条6号に、新設いたしますこども部を加えるものでございます。

第3条において、こども部の事務分掌として第6号アからエまでの事項を加えるものでございます。

続きまして、6ページを御覧ください。

笠間市行政改革推進委員会設置条例の一部改正でございます。

第7条において、行政改革に関する業務が総務部から政策企画部に移管することに伴い、笠間市行政改革推進委員会の庶務を所管する部を総務部から政策企画部へ改正するものでございます。

続きまして、7ページを御覧ください。

笠間市議会委員会条例の一部改正でございます。

第2条において、第2号イに教育福祉委員会の所管として、こども部の所管に関する事項を加えるものでございます。

続きまして、8ページを御覧ください。

笠間市公共施設の暴力団等排除に関する条例の一部改正でございます。

本条例における暴力団等の公共施設の利用を制限する対象施設として、別表に掲げる条例等の中から笠間市保健センターの設置及び管理に関する条例を削除するものでございます。

続きまして、13ページを御覧ください。

笠間市子ども・子育て会議条例の一部改正でございます。

こども部を新設することに伴い、第9条において、笠間市子ども・子育て会議の庶務の所管を、保健福祉部こども福祉課からこども部へ改正をするものでございます。

3ページにお戻りください。

本改正条例の第6条としまして、笠間市保健センターが所管していた業務を健康医療政策課及びこども政策課に移管し、保健センターが廃止されることに伴い、笠間市保健センターの設置及び管理に関する条例を廃止するものでございます。

附則でございます。この条例は、令和6年4月1日から施行するとしております。

以上で議案第1号の説明を終わります。

○安見委員長 以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議案第2号 笠間市の特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 続きまして、私から、議案第2号 笠間市の特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について御説明申し上げます。

平成18年より行っております市長の給料減額について、令和6年度も引き続き月額10%の減額を実施するものでございます。

改正内容につきましては、新旧対照表により御説明申し上げます。

3ページを御覧ください。

附則2第25項として「令和6年4月1日から令和7年3月31日までにおける市長の給料月額、条例第3条の規定にかかわらず、同条に規定する額から当該額の100分の10に当たる額を減じた額とする」を加えるものでございます。

2ページにお戻りください。

附則でございます。この条例は、令和6年4月1日から施行するといたしております。

以上で議案第2号の説明を終わります。

○安見委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

西山委員。

○西山 猛委員 これ、期間は1年刻みでしたか。

○石川人事課長 そうです。

○西山 猛委員 その理由は何でしょうか。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 市長の任期ということもございます。そのために、市長の任期の中で、例えば4年間ということではなく、1年ごとに条例のほうの改正をしていきたいと考えてございます。

○安見委員長 よろしいですか。

西山委員。

○西山 猛委員 だから、その理由は何ですか。それは分かった。四つに刻むんだという話は分かりました。だから1年ごとなんでしょう。でも、理由は何ですかという質問をしたんです。

○安見委員長 暫時休憩いたします。

午前10時15分休憩

午前10時30分再開

○安見委員長 休憩を取り戻し、会議を行います。

人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 市長の給料につきましては、単年度ごとに給料を定めているということがございますので、それを、単年度ごとに給料を定めていきたいと今後も考えておりますので、条例を今回も提出をさせていただきたいと考えてございます。

○安見委員長 よろしいですか。

ほかに質疑ございますか。

田村委員。

○田村泰之委員 これは今の社会情勢と見合って、賃上げ、物価高ということで、公約とか、市長の10%削減ということについては十分に分かるんですが、今の社会情勢とは合っていないと私は思うので、これが周りに飛び火、職員たちとか、私たち議員とか、そういうのにも風当たりが強くなってくる可能性もなきにしもあらずなので、私はそれは、いかんせんどうかなと思います。どうでしょう。その回答をお聞かせください。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 市長の給料は、市長に意見を聞いて、先ほど公約というのもありましたけれども、意見を聞いて決めております。ただ、そこで減額したことが、ほかの例えば私たち職員、あとは議員の方のというところまでの波及というものは……。 (発言する者あり) そこまでの波及ということは考えてはございません。

○安見委員長 ほかに質問ございますか。

田村委員。

○田村泰之委員 では職員に波及、そういう、ふさわしくない言葉ですが、飛び火しないという根拠は何ですか。本当に飛び火しないんですか。風当たり強くないですか、市民の方々から、職員の方々が。ましてや上げているんですからね、公務員の賃金を。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 職員の給料につきましては、毎年、人事院勧告に基づいて給料を上げる、または下げるときもありますけれども、あくまでも人事院勧告に基づいて条例で改正を行っておりますので、その影響が職員に及ぶということは考えてございません。

○安見委員長 よろしいですか。

田村委員。

○田村泰之委員 これっぽっちも考えていないですか。少しも考えていないですか。

○石川人事課長 はい。

○田村泰之委員 分かりました。

○安見委員長 ほかにありますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○安見委員長 以上で質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議あり」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 異議の声がございますので、挙手により採決を行います。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○安見委員長 挙手多数であります。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

〔発言する者あり〕

○安見委員長 失礼しました。挙手同数でありましたので、私が採決に入りまして、私は可決すべきものというふうに表明をいたしますので、本件は挙手多数ということになりまして、原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第3号 笠間市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 議案第3号 笠間市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について御説明申し上げます。

定年年齢がこれまでの60歳から段階的に引き上げられることに伴い、60歳を超える職員の昇給区分について見直しをすることとし、関係条例の一部改正をするものでございます。

改正内容につきましては、新旧対照表により御説明申し上げます。

3ページを御覧ください。

第6条において、新たに60歳を超える職員の昇給数を規定するため、以下の内容を第6項の次に1項加えるものであります。

55歳を超える職員の昇給数を規定する前項の規定にかかわらず、60歳を超える職員に関し昇給数を規定する第5項の規定の適用については、同項中4号給とあるのは、1号給とするものです。

2ページにお戻りください。

附則でございますが、この条例は、令和6年4月1日から施行するものでございます。

以上で議案第3号の説明を終わります。

○安見委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

西山委員。

○西山 猛委員 分かりやすく説明してください。分かりやすく。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 60歳以上の職員の定年年齢の延長に伴いまして、60歳以上の昇給区分というものが定められておりませんでした。それに伴いまして、60歳以上の職員が昇給する場合に何号級を昇給させるのがいいのかというようなところで、今回の改正となっております。それを、55歳未満の職員については4号給上がるんですけども、60歳以上の職員については、そこは1号給を昇給させるということの改正でございます。

○安見委員長 西山委員。

○西山 猛委員 何号とか何とかというのは、高いんだか安いんだか、多いんだか少ないんだか分からないから、それを説明してくれと。分かりやすく。

○安見委員長 暫時休憩をいたします。

午前10時38分休憩

午前10時39分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 標準での昇給となりますと4号給ということで、例えば1号給が200円だとしますと、4号給ですと1年間800円上がるということになります。そこを、60歳以上は1号給の昇給ということですので、200円上がるということでの改正でございます。

○安見委員長 西山委員。

○西山 猛委員 改正というのは何からの改正なんですか。60歳を超えた人の話なんだけれども、60歳を超えて再任用になった人のことがこうだった、それを改正してこうなったということなんでしょう。違うんですか。今までどうだったんですか。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 再雇用した職員につきましては、再雇用の定額の金額が、月額というのが決まっております、再雇用につきましては昇給というものはございませんでした。60歳以上定年延長となった職員につきましては、定年が延びたということで、お給料が私たちと同じようなお給料表を適用してまいりますので、年度ごとに昇給があるということになってございます。特に再雇用につきましては、一度職員を退職してから再雇用ということになりますので、給料表が別ということもございまして、月額決まったものが、昇給はなしに、それが再雇用の間はその月額給料が適用されるということでございます。

ということで、再雇用のときと正職員のまま定年延長になったときの給料というのは、昇給の考え方で違いが出てきております。

○安見委員長 分かりましたか、西山委員。大丈夫ですか。

西山委員。

○西山 猛委員 再雇用との比較を、今この条例に反映させているんですか。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 再雇用との比較は反映してございません。新しく、60歳を超える職員の昇給の考え方を定めております。

○安見委員長 西山委員、大丈夫ですか。

西山委員。

○西山 猛委員 では、改正ってどこを改正するの。改正というのは元のものを直すことを改正というんでしょう。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 笠間市職員の給与に関する条例の中に、定年延長した60歳を超える職員の昇給区分の考え方がありませんでしたので、そこを、この給与条例の中に付け加えたものでございます。ですので、改正ということでございます。

○金木市長公室長 委員長よろしいでしょうか。

○安見委員長 どうぞ。

○金木市長公室長 今の西山委員の質問ですけれども、改正というのは、号給を示す号給の表があるんです。それに60歳以上のものを付け加えたと、そして、それを改正したと。今までなかったものを入れて表を変えたということでございます。その表というのは、条例の別表、ここに示していませんが、別表の中に載っているものでございます。（発言する者あり）すみません、規則の中にうたっているものでございます。

○安見委員長 よろしいですか。

ほかに質問ございますか。

石井委員。

○石井 栄委員 その規則の中にうたっているというのは、昇給区分表で、60歳以上の方はS、A、B、C、D、Eという区分表があるということですか。

この前、全員協議会で説明があったときには、笠間市職員の給与に関する条例等の改正については、昇給区分の見直し表を提示されましたよね。これは、これには該当しないんですか。この表の適用になるということなんですか。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 この表に該当して、昇給をさせていくということでございます。

○安見委員長 石井委員。

○石井 栄委員 そうしますと、今言いましたように、この昇給区分表というのは、S、A、B、C、D、Eというのは、この表はいつからできたんですか。この表自体、元の表があったんですか、新しくつくったんですか。

○安見委員長 暫時休憩をいたします。

午前10時45分休憩

午前10時45分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 この表は人事評価制度の中で示されている表でして、人事評価制度の中でSからE区分までありまして、ここは人事評価に基づきまして、AなのかBなのかCなのか、それが決まりまして、それに基づいて昇給が何号給ということになってくるものでございます。

○安見委員長 石井委員。

○石井 栄委員 それが、いつ、つくったものなんですか、この表自体が。そう聞いたんです。質問に対する答えではないですね、今のお話。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 申し訳ございません。これは、人事評価制度ができた平成19年からできている表でございます。

○安見委員長 よろしいですか。まだありますか。

石井委員。

○石井 栄委員 この表に新しく付け加えたのが、良好の場合には1号給加えるという、そのCが新しく加わったということですか。どこが今回変わったところなんですか。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 示しました資料の中で60歳超と書かれている、一番下の網かけをしているところ、そこが加えられたものでございます。

○安見委員長 石井委員。

○石井 栄委員 そうしますと、60歳を超えると、極めて優秀の人は3号給以上、それから、特に優秀な人はAで2号給、Bは優秀な人が2号給、C良好が標準で1号給、D、Eは、良好でないD、それから、減給・停職E、そのD、Eは昇給なしという、こういうことが今度新しく提案されるということだと思っております。

では、それについて聞きますが、こういう評価は誰がどのように行うのか、御説明をいただきたいと思っております。

○安見委員長 暫時休憩をいたします。

午前10時48分休憩

午前10時51分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 人事評価制度につきましては、今までも行ってまいりました。今回は60歳以上の定年延長者の昇給区分につきましては、この人事評価制度に60歳を超えた方の昇給区分を新たに付け加えたものでございます。

○安見委員長 よろしいでしょうか。

○石井 栄委員 これに関していいですか。

○安見委員長 関して。範囲が変わりますか。

○石井 栄委員 範囲は変わらないです。

○安見委員長 石井委員。

○石井 栄委員 そうしますと、この評価については公正に行われるということなのかなと思うんですが、公正に行われるとすれば、その根拠はどのように説明がありますか。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 人事評価制度を行うには、マニュアルというものがございます。それに沿いまして、公正に1次評価者、2次評価者が評価をするということになってございます。

○安見委員長 石井委員。

○石井 栄委員 マニュアルに沿って公正にできるというような御判断なんですね。これによって職員間に不信感が生まれたり、それから、協力、協働の仕事を気持ちよくやっていけるというふうな体制を目指して、こういう制度の適用をさせるということなんですか。

○安見委員長 暫時休憩をいたします。

午前10時53分休憩

午前10時56分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

○安見委員長 人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 やはり定年延長した職員にも、業務をするに当たってモチベーション、そうした向上というものを、意識を持って業務に取り組んでいただきたい、その中の一つとしまして、やはりお給料というものも一つの指標になるかと思えます。その中で、毎年、昇給がない、そういったことではなく、1号、2号という昇給があるということで、定年延長される方についても業務へのモチベーションの向上が図れるのではないかと考えてございます。

○安見委員長 よろしいですか。

ほかに質問ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので質疑を終結いたします。

討論に入ります。

石井委員。

○石井 栄委員 この条例案に反対の立場で討論をいたします。

60歳以上の方に、新たに人事評価制度に基づいて昇給の仕組みが提示されているわけですね。これによりますと、S、A、B、C、D、Eというような人事評価に基づいて、標準の良好の人は1号給上がり、それ以上の人はそれぞれの昇給がなされるという制度の適用を受けることになるわけです。そうしますと、やはり市の公正公平な職務の遂行という、みんなで協力して行うべき仕事の中に、人事評価制度による、マニュアルに基づいて行っているとはいえ、上司の判断が入ってくるわけですので、やはり競争的な意識が加わってきますと、協力して仕事を進めるということに懸念が生じますので、これについては反対いたします。

以上です。

○安見委員長 ほかに討論ございますか。

河原井委員。

○河原井信之委員 私は賛成の立場で討論をさせていただきます。

今や、この地域社会は人手不足の状況になっております。そういう中で、60歳まで働いた方々というのは、本当にこの市役所の職員というのは、専門的な立場で60歳まで来られたものですから、そういった方々を再任用する際には、やはり今までと同じように昇給の在り方をするべきだというふうに思い、また、モチベーションの問題もそうですけれども、やはり貴重な人材を採用するということには、地域の発展につながるものと考えますので、私は賛成の立場で討論させていただきます。

○安見委員長 ほかに討論はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

この採決は挙手により採決を行います。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○安見委員長 挙手多数であります。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議案第4号 笠間市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

人事課長石川浩道君。

○石川人事課長 議案第4号 笠間市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例

等の一部を改正する条例について御説明申し上げます。

令和2年度から会計年度任用職員制度が創設され、基本の報酬に加え、現在は期末手当を支給してございます。勤勉手当の支給は課題検討とされておりましたが、令和5年4月に地方自治法の一部が改正されたことに伴い、本市においても会計年度任用職員の勤勉手当を支給するため、関係条例に関し所要の改正をするものでございます。

改正内容につきましては、新旧対照表により御説明申し上げます。

4ページから5ページを御覧ください。

第3条において会計年度任用職員の給与を定めておりますが、新たに勤勉手当を加えるものでございます。

第16条においてはフルタイム会計年度任用職員の期末手当について定めており、勤勉手当の改正と併せ規定の整理を行うものでございます。

第1項において、常勤職員の期末手当の支給率、フルタイム会計年度任用職員について準用すると規定していることから、同会計年度任用職員の期末手当の支給率等を規定する第2項を削除し、第3項及び第4項を1項ずつ繰り上げるものです。5ページになりますが、また新たな第2項において、本改正条例により条項のずれが生じることにより、第1項を前項とするものでございます。

次に、フルタイム会計年度任用職員の勤勉手当の支給に関し、新たに第16条の2を加えるものでございます。

第1項において、常勤職員の勤勉手当を規定する給与条例第21条の規定は、任期が6か月以上のフルタイム会計年度任用職員について準用するとしてございます。また、第2項は、期末手当の支給に当たり、6か月以上のフルタイム会計年度任用職員とみなすことを定める第16条第2項及び第3項を勤勉手当において準用するとしております。

次に、5ページからの第25条から7ページにかけましては、パートタイム会計年度任用職員の期末手当及び勤勉手当に関し、フルタイム会計年度任用職員と同様に改正をするものでございます。

続きまして、8ページから9ページを御覧ください。

笠間市職員の育児休業等に関する条例につきまして、第7条第2項において育児休業している職員の勤勉手当の支給について定めておりますが、第2項において会計年度任用職員を除くとしていたものを削除しております。

第8条においては、第7条第2項の改正に伴い、地方公務員法に規定する会計年度任用職員を定義づけをする必要があることから、文言の追加をするものでございます。

続きまして、10ページを御覧ください。

笠間市の単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例につきましては、会計年度任用単純労務職員の給与の種類に勤勉手当を新たに加えるものでございます。

3ページにお戻りください。

附則でございます。この条例は、令和6年4月1日から施行するものとしております。
以上で議案第4号の説明を終わります。

○安見委員長 説明が終わりました。
これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。
討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。
これより採決に入ります。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

入替えのため暫時休憩いたします。

午前11時05分休憩

午前11時15分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、政策企画部企画政策課、議案第5号 笠間市公の施設の広域利用に関する協定の実施のための特例条例の一部を改正する条例について及び議案第22号 公の施設の広域利用に関する協議についての一括審査を行います。

提案者の説明を求めます。

企画政策課長森 望君。

○森企画政策課長 企画政策課です。よろしく申し上げます。

議案第5号 笠間市公の施設の広域利用に関する協定の実施のための特例条例の一部を改正する条例について及び議案第22号 公の施設の広域利用に関する協議についてを一括して御説明をさせていただきます。

説明の都合上、議案第22号の内容から先に説明をさせていただくことを許可いただきたいのですが、よろしいでしょうか。

○安見委員長 結構です。申し上げます。

○森企画政策課長 ありがとうございます。

それでは、議案第22号の資料をお開きください。

公の施設の広域利用につきましては、県央地域連携中枢都市圏を構成する本市と水戸市、

ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村の9市町村を枠組みとしまして、平成23年4月から相互利用を行っているものでございます。

資料の3ページを御覧ください。

相互利用の内容としまして、施設が設置されている市町村の住民と、それ以外の方で利用方法等に差がある公の施設につきまして、協定市町村の住民が利用する場合は、本協定の第3条及び第4条の規定により、施設が立地する市町村の住民と同様の手続や料金で利用できるものとするものでございます。本協定に変更等があった際には、その都度、議会に上程を行っております。

4ページを御覧ください。

水戸市の項、上から6項目、東部公園サッカー場の1面が供用開始となるため、今回新たに追加するものでございます。

次に、5ページを御覧ください。

笠間市の項、笠間芸術の森公園スケートパークの休憩施設を新たに追加するものでございます。

続きまして、議案第5号の資料をお開きください。

3ページの新旧対照表を御覧ください。

本条例の第3条に規定します協定の対象施設としまして、別表第1の笠間芸術の森公園スケートパーク管理条例の項に休憩施設を加えるものでございます。また、第4条に規定します協定市町村に住所を有する者を本市に住所を有するものとみなす施設としまして、別表第2に休憩施設を追加する改定を行うものでございます。

2ページにお戻りいただきまして、附則としまして、本条例は令和6年4月1日から施行するものとし、協定の締結日につきましても令和6年4月1日を予定しております。

説明は以上です。よろしく申し上げます。

○安見委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手によりお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。

○安見委員長 暫時休憩いたします。

午前11時19分休憩

午前11時19分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

これより採決に入ります。

まず、議案第5号について採決を行います。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。議案第5号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、議案第22号の採決を行います。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。議案第22号についても、原案のとおり可決すべきものと決しました。

入替えのため暫時休憩いたします。

午前11時20分休憩

午前11時20分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、企業誘致・移住推進課、議案第6号 笠間市空家等対策の推進及び空家等の利活用の促進に関する条例及び笠間市空家等対策協議会設置条例の一部を改正する条例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

企業誘致・移住推進課長滝田憲二君。

○滝田企業誘致・移住推進課長 企業誘致・移住推進課の滝田でございます。

議案第6号 笠間市空家等対策の推進及び空家等の利活用の促進に関する条例及び笠間市空家等対策協議会設置条例の一部を改正する条例について、その内容について御説明申し上げます。

今回の改正につきましては、空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正する法律、いわゆる空家法の改正が昨年12月13日に施行され、特定空家化の未然防止策としまして、特定空家化になる前の管理不全空家に対する市町村が行う指導、勧告の措置が加えられたことに伴い、関係する条項を改正するものでございます。

新旧対照表により説明申し上げます。

4ページをお開き願います。

笠間市空家等対策の推進及び空家等の利活用の促進に関する条例につきまして、法改正

を受けまして条項の整理を行うもので、第2条第1項第3号につきましては、改正空家法と同じく、管理不全空家等の定義としまして、空家等が適切な管理が行われてないことにより、そのまま放置すれば特定空家等となるおそれのある空家等として改正するものでございます。

5ページをお開き願います。

現行条例第9条第3項の助言または指導の規定を削除しまして、新たに第10条を追加し、第1項として、管理不全空家等に対して国が定める空家管理の基本方針に基づいた防止措置を取るよう指導を行うことができる旨を規定し、同条第2項としまして、指導の結果が改善されず、放置すれば特定空家等に該当するおそれが大きいと認める場合につきましては、必要な具体的措置について勧告することができることを規定します。これによりまして、特定空家化の未然防止の対策の強化を図るものでございます。この具体的措置としましては、例えば東側部分の屋根ふき材の補修を行うことなどを明記して勧告することになります。

今回の改正で特に大きい点としましては、この規定に基づきまして勧告を受けた管理不全空家等につきましては、住宅としての利用が難しく、固定資産税の住宅用特例の本来の趣旨から外れるということもありますので、空家法の改正と同じく、併せて地方税法の改正が行われておりまして、その規定に基づきまして減税額が解除されます。

次に、7ページをお開き願います。

笠間市空家等対策協議会の設置条例につきまして、根拠法令の改正による条項の整理及び第3条に新たに本協議会が所管するものとして、管理不全空家等に関する勧告に関することを第4項として追加するものでございます。

3ページをお開き願います。

附則でございますが、本条例は令和6年4月1日から施行するものでございます。

以上でございます。

○安見委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

石井委員。

○石井 栄委員 4ページの現行と改正案について、まずお聞きしたいんですけども、現行は管理不全状態空家、特定空家、特定空家等となるおそれがある空家、それが、管理不全空家、それから特定空家、そういうことに変更されるように書いてありますが、不完全状態空家という規定がなくなって、それが管理不全空家等に名称が変わったように見えるんですが、この違いはどういうことなのか、ちょっとお願いします。

○安見委員長 企業誘致・移住推進課長滝田憲二君。

○滝田企業誘致・移住推進課長 空家法におきましては、今までは特定空家という位置づけのみが定義されてございました。それは特定空家というのが、周辺にも悪影響を及ぼす

ような、ちょっと使えないような老朽空家を指しておったんですが、今回、その特定空家になる前の段階の空き家についても空家法に位置づけるということになりまして、それが管理不全空家等ということで、特定空家になる前の段階のものを管理不全空家等と位置づけてございます。

現行法の管理不全状態空家等、これにつきましては、空家法の改正前から、本市の条例においては特定空家の前の状態を管理不全状態空家という位置づけをして、市独自に指導をしてまいりました。これらが、今回、空家法の改正が行われて、明確に管理不全空家等と位置づけがされたもので、それに合わせるような改正をするものでございます。

○安見委員長 石井委員、大丈夫ですか。

○石井 栄委員 分かりました。では、次。

○安見委員長 石井委員。

○石井 栄委員 5ページ、管理不全空家の所有者に対して必要な措置を取るよう指導することができる、このようになっておりまして、その指導に対して、指導が受け入れられなかったときに勧告という段階になるのでしょうか。その関係と、その場合に固定資産税の減税額が解除されるというふうになっておりますが、固定資産税の減税額がどれだけであったものがどのようになくなるのか、少なくなるのか。同時に、できればお願いします。

○安見委員長 企業誘致・移住推進課長滝田憲二君。

○滝田企業誘致・移住推進課長 指導に従わなかったものの勧告という形で流れていくわけなんです、指導について複数回行ったにもかかわらず、なお改善が図られないというものについて、ここで大きいのは、放置すれば特定空家になるおそれが大きいと判断した場合、次の段階の勧告という形でいきます。例えば、複数回指導しても、壁に亀裂があったものの修繕を行わずに、一向に改善されないまま、このまま放置した場合はその壁が崩落してしまうような場合、それについては勧告という形に移行をしていきます。

それで、勧告した場合に固定資産税の解除という部分があるんですが、これまで、住めるような住宅であれば、面積に応じて3分の1から6分の1程度の減税額を、特例を受けていたわけなんです、今回この勧告を受けた場合は、その3分の1または6分の1の減税が解除されるということになってきます。ただし、勧告に従って改善がされれば、その特例はまた復活するということになります。

○安見委員長 よろしいですか。

石井委員。

○石井 栄委員 確認なんです、3分の1から6分の1等の減税になっているものが解除になるという話だったんですが、固定資産税が3分の1になっていたもの、6分の1になっていたものが100%に戻るということなんですか。ちょっとその辺の数字的なことを確認をしたいんですけれども。

○安見委員長 企業誘致・移住推進課長滝田憲二君。

○滝田企業誘致・移住推進課長 3分の1、6分の1の減税が元に戻る、100%に戻るということでございます。

○石井 栄委員 分かりました。

○安見委員長 ほかに質問ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

入替えのため暫時休憩いたします。

午前11時31分休憩

午前11時32分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、デジタル戦略課、議案第41号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

デジタル戦略課長鈴木昭彦君。

○鈴木デジタル戦略課長 鈴木です。どうぞよろしくお願いたします。

議案第41号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について御説明申し上げます。

本案は、地方自治体が特定個人情報を利用するほか、市長部局と教育委員会の情報連携を行うために定めた本条例を、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆる番号利用法の一部改正などに伴いまして、条例内において法律から引用する条項及び文言を改正後の法律に適合させるため、一部を改正するものでございます。

改正内容につきましては、新旧対照表により御説明申し上げます。

4 ページをお開きください。

第1条において、引用元法第19条第10号を法第19条第11号に改め、第2条において、番号利用法が改正されることなどから、4号の個人番号利用事務、7号の特定個人番号利用事務、8号の利用特定個人情報の用語を定義し加えたほか、5ページをお開きいただきまして、第4条第1項第3号の法別表第2の第2欄に掲げる事務を、第2条で定義した特定個人番号利用事務に改めるほか、第3項において引用されている条文を、改正後の番号利用法に適合させるものでございます。

次に、第5条において、法第19条第10号を法第19条第11号に整理するほか、法別表第2の第2欄に掲げる事務を特定個人番号利用事務に改めます。なお、同表の第4欄に掲げる特定個人情報を、利用特定個人情報に改め、当該特定個人情報を当該利用特定個人情報に改めるものでございます。

3ページにお戻りいただきまして、附則といたしまして、この条例は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行の日から施行するものでございます。

以上で説明を終わります。

○安見委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

石井委員。

○石井 栄委員 新旧対照表の4ページなんですけれども、その一番下のところに、現行の個人番号の利用範囲、それから改正案の個人番号の利用範囲ということで、ここまでは全く同じなんです、5ページに行きますと、上から3行目の(3)市長または教育委員会が行う特定個人番号利用事務、それから現行では、市長または教育委員会が行う法別表第2の第2欄に掲げる事務と、このように書いてあるんですが、これによって変化することというのは何なのでしょうか。文言が変わっているんですが、中身がどのように変わったのか、まず。

○安見委員長 デジタル戦略課長鈴木昭彦君。

○鈴木デジタル戦略課長 こちらのほうは、法別表第2というのは、いわゆる国の法律、番号利用法という略称を使わせていただきますが、こちらに別表1と別表2がございます。その別表2は廃止になるということで、そこに掲げてある利用する事務が一覧であるんですが、そちらが各省庁の省令で決められることとなります。そのため、こちらのほうを新たに改正、番号利用法の法律で定義された特定個人番号利用事務に改めるものでございます。

法律上の文言を整理するのみでありまして、条例については、利用の範囲とかそういったものは影響ございません。

○安見委員長 石井委員。

○石井 栄委員 その下に3番というのがありまして、今のと関連が深いと思うんですけども、市長または教育委員会は、法別表第2の第2欄に掲げる事務を処理するために必要な限度で、同表の第4欄に掲げる特定個人情報であって点々々、改正のほうは、市長または教育委員会は、特定個人番号利用事務を処理するために必要な限度で、利用特定個人情報であって点々々と同じような文脈で書かれてありまして、ここでこの文言が変わったということで、その取扱いの範囲とか取扱いの内容、取扱い方法がどのように変化を受けるのでしょうか。

○安見委員長 デジタル戦略課長鈴木昭彦君。

○鈴木デジタル戦略課長 取扱いの内容ということに関しましては変更ございません。以上でございます。

○安見委員長 大丈夫ですか。

石井委員。

○石井 栄委員 では、取扱いの内容は変更がないと。取扱いの方法とか便宜性とか、そういうものはどういうふうに影響があるのでしょうか。

○安見委員長 それも含めて変わってないというお話……、一応言ってください。

デジタル戦略課長鈴木昭彦君。

○鈴木デジタル戦略課長 やり方にしろ、その内容にしろ、全て変更はございません。文言の整理でございまして、影響範囲はございません。

○安見委員長 いいですか。

○石井 栄委員 はい。

○安見委員長 ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、質疑を終結いたします。

討論に入ります。

石井委員。

○石井 栄委員 議案第41号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について、反対の立場で討論をいたします。

ただいまの御説明によりまして、また記載内容から見て、条例改正は法の改正に伴って文言の適合性という観点から文言の適正化を図ったと、このように受け止めております。しかし、そもそもこの条例がマイナンバー法を受けて、マイナンバー法に基づく個人情報の利用、個人番号の利用と提供の範囲を定めるものであり、この文言の適正化などは、この法の執行を促進する、円滑な運用を図るためになされるものであると、このように考えますと、この条例案によって、マイナンバー法に基づくマイナンバーカードなどの利用に

伴って、個人情報漏えい、それから、それに基づく個人への様々な、匿名加工情報の匿名性の低い情報の利用などにつながる懸念もございますので、私はこの条例改正案に反対をいたします。

以上です。

○安見委員長 ほかに討論ございますか。

田村委員。

○田村泰之委員 賛成討論。法改正により、これは文言の整理ということで、笠間市の条例には何らかの問題もないということなので、私は、これは賛成いたします。

以上。

○安見委員長 ほかに討論ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

この採決は挙手により採決を行います。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに賛成の諸君の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

○安見委員長 挙手多数であります。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

入替えのため暫時休憩いたします。

午前11時43分休憩

午前11時44分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、総務部総務課、議案第7号 笠間市公告式条例の一部を改正する条例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

総務課長橋本祐一君。

○橋本総務課長 議案第7号 笠間市広告式条例の一部を改正する条例について説明させていただきます。

初めに、条例等の交付手続は市の条例で定めるところとされており、交付手続時の長の署名については、条例については法律で規定されておりますが、規則その他の規程等は市の条例に特別の定めがあるときは条例の公布手続に準じる必要はないとされております。これらのことから、業務の改善、事務の簡素化等を目的とし、市が制定する条例については今までどおりでございますが、規則の公布における市長の署名その他の規程等の交付における市長の記名、押印については、県に準じて記名のみに見直すこととし、令和6

年4月1日から施行を予定しているものでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○安見委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議案第18号 地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

総務課長橋本祐一君。

○橋本総務課長 議案第18号 地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について説明いたします。

初めに、地方自治法の一部を改正する法律の施行により、指定公金事務取扱者制度に係る規定が新設されたことに伴い、本市の条例において引用する条文が繰下げ、変更が生じることから、当該条項を引用する規定を改正するものでございます。

今回の改正の対象となる条例は、2ページのほうを御覧いただきまして、笠間市監査委員条例ほか5条例について、それぞれ別添、新旧対照表のとおり引用条文を改正するものであり、令和6年4月1日からの施行を予定しております。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○安見委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議案第19号 笠間市条例の読点の表記を改める条例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

総務課長橋本祐一君。

○橋本総務課長 議案第19号 笠間市条例の読点の表記を改める条例について説明いたします。

初めに、本市においては、文書事務規程に公文書の作成に必要な基本事項を定め運用しており、読点については従来コンマを用いることを原則としておりましたが、令和4年1月に国において、公用文における実態や社会状況との食い違いを是正するため、公用文作成の考え方について見直しが行われ、本市も令和4年4月1日から、国、県に準じ、公用文等の作成において点を用いることとしております。

しかしながら、現状としては、令和4年4月1日以降に交付された例規については、読点は全て点を使用しておりますが、それ以前の例規には読点の表記が混在するなど統一されていない状況となっております。

条例の制定内容でございますが、読点として表記しているコンマを全て点に一括して改めるものであり、改正に当たっては、条例以外の規則、告示、訓令につきましても、本案の議決後、読点の表記を改める例規をそれぞれ制定することになり、令和6年4月1日からの施行を予定しております。

説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○安見委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

田村委員。

○田村泰之委員 これは世界基準、分かりやすく言うと、台風、昔はミリバールだったよね。あれ、世界基準のヘクトパスカルになったわけ。尺貫法も、尺だったのがメートルになった。そういう形の理解でよろしいのかな。それに似たような形。

○安見委員長 総務課長橋本祐一君。

○橋本総務課長 世界基準ということではないんですが、国のほうの基準の見直しの中で改正が行われたことに準じまして、市のほうもそれに準じているということになります。

以上でございます。

○田村泰之委員 分かりました。

○安見委員長 よろしいですか。

ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

入替えのため暫時休憩いたします。

午前11時50分休憩

午前11時51分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、税務課、議案第8号 笠間市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

税務課長山崎由美子君。

○山崎税務課長 税務課長の山崎でございます。よろしくお願いたします。

議案第8号 笠間市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例について御説明いたします。

今回の改正につきましては、笠間市の産業活動の活性化及び雇用機会の創出のため、本条例の適用期限を延長するとともに、対象要件を緩和するため所要の改正をするものでございます。

それでは、今回の改正内容を新旧対照表により御説明いたします。

3ページを御覧ください。

第2条第1項第1号につきましては、特例法人の対象要件について、厳しい雇用条件の中、また雇用環境が大きく変化する中、従業員の数を、「10人以上増加させる」を「5人以上増加させる」に改めるものでございます。

附則第2項につきましては、企業の立地判断から本条例の特例が適用されるまでの期間を考慮するとともに、産業の活性化及び雇用機会の創出をさらに図るため、特別措置の適用期限を令和11年3月31日まで5年延長するものでございます。

前の2ページにお戻りいただきまして、附則第1条につきましては施行期日について、第2条につきましては経過措置について定めるものでございます。

以上で議案第8号についての説明を終わります。よろしく願いいたします。

○安見委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

石井委員。

○石井 栄委員 3ページの、新旧対照表の現行と改正案の部分に関してちょっとお伺いしたいのですが、(1)の中で、現行、規則で定めるところにより算定した当該法人の従業員（雇用保険法）、また改正案でも同じ文言がありますけれども、これは括弧の中を除くと書いてありますが、この従業員というのは除いて、どういう人がこれに当たるのかというのを、もうちょっと分かるように説明をお願いできませんか。

○安見委員長 税務課長山崎由美子君。

○山崎税務課長 対象となる従業者につきましては、いわゆる正職員、パート、アルバイトなど、特別に、日雇といった方ですとか、笠間市は該当にならないんですけれども、海の家のような特別な季節労働の方を除く方全てが対象になっております。

○安見委員長 石井委員。

○石井 栄委員 それで、現行で10人以上となっているのを5人以上という数字に変えたという、その意図、それは10から5に変えたのはなぜなのでしょう。

○安見委員長 税務課長山崎由美子君。

○山崎税務課長 10から5に変えた意図ですけれども、先ほども申し上げましたとおり、雇用環境等が大きく変化していて、10人の増加を確保するのが難しい状況にございますという点が1点。

今回の改正に当たりまして、近隣市町村の一部を確認していたところ、元は10人だったかもしれないんですけれども、現在は5人以上に変わっている市町村は多くございまして、そうしますと、企業の業務拡大ですとか進出をしていただくときに、笠間市がその対象から外れてしまって、こちらに来ていただけるかもしれない方々が来てもらえないという現象が起きかねないということもありますので、近隣とのバランスも見ながら、笠間市を今後とも企業誘致の対象として選んでいただけるために、10人から5人に変更させていただきたいということで提案してございます。

○安見委員長 石井委員。

○石井 栄委員 そうしますと、現在、固定資産税の特別措置に関する条例によって、固定資産税が一部減免されているわけですね。それに加えて、従業員の人数要件を10人か

ら5人に緩和するということになります。もう一度、固定資産税の特別措置がどのように適用されているのか、確認のためお知らせいただきたいのですが。

○安見委員長 税務課長山崎由美子君。

○山崎税務課長 適用方法といたしましては、新規進出または拡充した場合、まず建物、償却資産、そして建物の底地を購入した場合は、その底地部分について3年間、こちらの特別措置により固定資産税を減額してございます。

○安見委員長 委員、よろしいでしょうか。

石井委員。

○石井 栄委員 この減額措置で結構減額されると思うんですが、この減額措置だけでも企業にとっては非常に有効な対策になると思うんですが。これの効果というのかなりあると思うんですが、人数制限を付け加えなければ効果が出ないということなのではないでしょうか。

○安見委員長 税務課長山崎由美子君。

○山崎税務課長 こちらの人数制限を付け加えることで、笠間市を選んでいただける企業が増えれば、効果はあると考えてございます。

○石井 栄委員 分かりました。いいです。

○安見委員長 ほかに質問ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

入替えのため暫時休憩いたします。

午後零時00分休憩

午後1時00分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、産業経済部農政課、議案第13号 笠間市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

農政課長菊地恵一君。

○菊地農政課長 農政課の菊地です。よろしくお願いたします。

議案第13号 笠間市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について御説明申し上げます。

本案は、農業経営基盤強化促進法の一部改正により、「人・農地プラン」は「地域計画」と名称を変えて同法に位置づけられたことに伴う改正でございます。

内容につきましては、新旧対照表により御説明申し上げます。

3ページをお開きください。

別表中の笠間市「人・農地プラン策定検討会委員」を笠間市「地域計画策定検討会委員」に改め、委員の報酬等の額を定めるものでございます。

2ページにお戻りいただきまして、附則としまして、この条例は令和6年4月1日から施行するものでございます。

議案第13号の説明は以上となります。

○安見委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

入替えのため暫時休憩いたします。

午後1時02分休憩

午後1時03分再開

○安見委員長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、観光課、議案第14号 あたごフォレストハウスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についての審査を行います。

提案者の説明を求めます。

観光課長山内一正君。

○山内観光課長 観光課の山内でございます。

それでは、議案第14号 あたごフォレストハウスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について御説明申し上げます。

あたごフォレストハウスは、平成12年に建築されまして築20年が経過しており、老朽化が課題となっております。自然を満喫しながらリフレッシュできる場に皆が集うことで、にぎわいの創出につなげ、愛宕山地域全体の活性化を図ることを目的としまして整備を行ったところでございます。施設には飲食エリアや多目的スペース、シャワー付きの更衣室、眺望を生かした展望デッキなど新たに設けまして、令和6年4月からの供用開始をしていくものでございます。

本案は、今回整備しました多目的スペース、シャワー付き更衣室の使用料を定めるため、条例の一部を改正するものでございます。

改正内容につきましては、新旧対照表により御説明申し上げます。

3ページをお開き願います。

第6条の「ただし、市長が公益上その他特別の理由があると認めるときは、」の後に「規則で定めるところにより」を加え、「ただし、市長が公益上その他特別の理由があると認めるときは、規則で定めるところにより使用料を減免することができる。」に改めるものでございます。

次に、別表中、現行の内容につきまして削除しまして、区分、多目的スペース、使用料、9時から12時2,310円、13時から17時3,080円、9時から17時6,160円。区分のシャワー付き更衣室ですが、使用料1回500円に改めるものでございます。

2ページにお戻りいただきまして、附則といたしまして、この条例は令和6年4月1日から施行するものでございます。

なお、減免の詳細につきましては、同条例施行規則において定めてまいります。

議案第14号の説明は以上でございます。

○安見委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

石井委員。

○石井 栄委員 現行の運営規則と改正案が出されていますが、この使用料はどのようにして、どのような根拠で出された数字でしょうか。

○安見委員長 観光課長山内一正君。

○山内観光課長 使用料の算定の根拠でございますが、使用料の調書によりまして、指定管理料のうち、フォレストハウス部分に係る人件費、光熱水費、警備、そういったものの委託料などの維持管理経費を令和6年度から令和8年度の3年間の平均額を、貸出面積と開館時間で割りまして、それを加味して算定をしたものでございます。

○安見委員長 石井委員。

○石井 栄委員 そうしますと、多目的スペースの9時から12時までの2,310円というのは、多目的スペースを全部借りたときですか、それとも1人当たりの使用料なんですか。これは全部1人当たりなんですか。

○安見委員長 観光課長山内一正君。

○山内観光課長 この1部屋を借りたときの値段でございます。

○安見委員長 石井委員。

○石井 栄委員 そうすると、1部屋の定員というのは何名になるのですか。

○安見委員長 観光課長山内一正君。

○山内観光課長 その施設については41平米ございまして、席数としては16を基本としては置いてございます。

○安見委員長 よろしいでしょうか、石井委員。

ほかに質問はございますか。

長谷川委員。

○長谷川愛子委員 すみません、確認でちょっとお伺いしたいんですけども、この記入の仕方だと、9時から12時まで、例えば、では11時から12時まで使いたい人も、この金額という捉え方でいいんですか。

○安見委員長 観光課長山内一正君。

○山内観光課長 その考え方で設定しております。

○長谷川愛子委員 ありがとうございます。

○安見委員長 よろしいですか。

ほかに質問はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議案第20号 指定管理者の指定について（あたごフォレストハウス）及び議案第21号 指定管理者の指定について（あたご天狗の森野外ステージ及びフレンドリーパーク野外ステージ）の一括審査を行います。

提案者の説明を求めます。

観光課長山内一正君。

○山内観光課長 それでは、議案第20号及び議案第21号の指定管理者の指定については関連がございますので、併せて御説明を申し上げます。

指定管理者に管理を行わせようとする公の施設の名称は、議案第20号はあたごフォレストハウス、議案第21号はあたご天狗の森野外ステージ及びフレンドリーパーク野外ステージでございます。

指定管理者として指定する団体の名称でございますが、一般社団法人笠間観光協会となります。

指定期間は、令和6年4月1日から令和11年3月31日までの5年間となります。

今回の指定については、公募を行いまして、その結果、1団体からの申請がございました。提出されました事業計画、収支計画等を審査した結果、指定管理者制度導入時から約12年間にわたり同施設を管理運営していること、それと、市民サービスの向上及び施設の管理運営体制が安定的かつ継続的に確保できると判断しまして、指定管理者候補として選定いたしました。あわせて、笠間市公の施設における指定管理者の指定手続に関する条例第4条第2項の規定に基づきまして、諮問した指定管理者選定審議会から、指定管理者候補者として適当であるとの答申をいただいております。今般、指定管理者として指定をするものでございます。

議案第20号及び議案第21号の説明は以上でございます。

○安見委員長 説明が終わりました。

これより質疑に入ります。

石井委員。

○石井 栄委員 一般社団法人笠間観光協会が、この指定管理者となるということで、長年の実績を評価されてというお話がありましたが、その実績の中に、従業員の待遇、労働条件などは、どのように判断されていたのかお伺いしたいのですが。

○安見委員長 暫時休憩いたします。

午後1時12分休憩

午後1時13分再開

○安見委員長 休憩を取り戻し、会議を再開いたします。

観光課長山内一正君。

○山内観光課長 従業員数は19名でございます。正職員が5名、嘱託職員は14名でございます。このあたご天狗の森公園の管理として配属されている体制としましては、総括が1名、管理責任者1名、嘱託職員1名、作業員4名というような形の体制でございます。

○安見委員長 石井委員、いいですか。

石井委員。

○石井 栄委員 待遇、労働条件というのは、それが審査項目に入っているのかどうか、入っていたとしたら、どういうふう to 評価されたのかというふうにお聞きしたと記憶していますが。

○安見委員長 暫時休憩します。

午後 1 時 1 4 分休憩

午後 1 時 1 4 分再開

○安見委員長 休憩を取り戻し、会議を再開します。

観光課長山内一正君。

○山内観光課長 今回の評価の中に、知識や経験を有する人材の確保や他団体との連携をはじめ優れた管理体制が整っているかという設問という判定項目がございまして、運営については観光協会の規定に沿って行っているものでございます。

○安見委員長 石井委員、よろしいですか。

○石井 栄委員 分かりました。これ以上ないようですから。

○安見委員長 ほかに質問はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、以上で質疑を終結いたします。

討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

まず、議案第20号からお諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。よって、議案第20号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議案第21号について採決を行います。

お諮りいたします。

本件を原案のとおり可決すべきものと決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議なしと認めます。議案第21号についても原案のとおり可決すべきものと決しました。

執行部退席のため暫時休憩いたします。

午後 1 時 1 6 分休憩

午後 1 時 1 6 分再開

○安見委員長 会議を再開いたします。

以上で総務産業委員会に付託になりました議案の審査は終了いたしました。

ただいま御審議いただきました審議の結果については、今期定例会最終日に報告することになります。

なお、報告書の作成については委員長に一任させていただきたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 御異議がありませんでしたので、私に一任させていただくことに決定いたしました。

○安見委員長 その他、何かありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○安見委員長 ないようですので、以上をもちまして総務産業委員会を閉会いたします。
長時間お疲れさまでした。

午後 1 時 1 7 分閉会